学校番号	１１３

令和３年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	２単位	年	２年
類型等	理型（選択必修）・文型（選択）						
使用教科書	「改訂　化学」　（東京書籍）						
副教材等	改訂　ニューグローバル　化学基礎＋化学　（東京書籍） 三訂版　フォトサイエンス化学図録　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学基礎の内容を発展させて、２年生では主に学習指導要領の(1)物質の状態と平衡（内容：物質の状態、気体・溶液の性質、固体の構造）、(2)物質の変化と平衡のうち、ア)化学反応とエネルギー（内容：化学反応と熱・光、電池・電気分解）について詳しく学習する。
　※その他の分野（化学反応の速さと平衡、無機物質、有機化合物、高分子化合物）については３年生で扱います。化学基礎の学習を踏まえた内容となっているため、化学基礎を選択した生徒のみが選択できる科目である。
化学基礎にも書いているが、あわせて選択した場合は、２年次の初めのうちは化学基礎の内容とそれに関連した化学の内容を学習し、化学基礎の学習内容が終わったあとに化学の内容について学習する。そのため、化学とあわせて４単位となるので進度は速く、毎日の復習は必ず必要である。また、化学基礎で学習した基本的な原理・法則を用いて、物質の性質や反応を解説するため、化学基礎の内容については理解・習得しておく必要がある。

理系方面（薬学・医療看護・栄養を含む）への進学希望者は選択することを強く勧める。

2　学習の到達目標

化学的な事物・現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，化学的に探究する能力と態度を育てるとともに，化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち，主体的に探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め，知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 発問時の評価 定期考査 実験レポート 練習問題提出 課題の提出 小テスト	授業態度 発問時の評価 定期考査 実験レポート 練習問題提出 課題の提出 小テスト	授業態度 発問時の評価 定期考査 実験レポート 練習問題提出 課題の提出 小テスト	授業態度 発問時の評価 定期考査 実験レポート 練習問題提出 課題の提出 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
２学期中間考査までは化学基礎の授業を行う。								
２学期	化学反応とエネルギー	化学反応と熱・光	○		○		a:化学反応と熱・光，電池と電気分解に関する事物・現象に関心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。 b:化学反応とエネルギーとしての熱・光の出入り及び電池と電気分解に関する事物・現象の中に問題を見いだし，観察，実験などを通じて，事実を分析的・総合的に捉え，実証的，論理的に考察して問題を解決し，科学的に判断できる。 c:観察，実験の技能を習得するとともに，化学反応と熱・光，電池と電気分解に関する事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。 d:観察，実験などを通して，化学反応と熱・光，電池と電気分解に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し，基本的な知識を身に付けている。	学習状況 ノート 実験レポート 観察・実験 小テスト 定期考査
		電池と電気分解		○	○			
３学期	物質の状態と平衡	物質の状態	○				a:化学的な事物・事象のうち，物質の状態変化とその平衡について関心や探究心をもち，意欲的にそれらの理解や探究に取り組むとともに，科学的な自然観を身に付けている。 b:物質の状態変化とその平衡について問題を見いだし，観察，実験あるいは事実の分析や総合的把握を通じて，実証的，論理的に考察して問題を解決し，科学的に判断することができる。 c:観察，実験の技能を習得するとともに，物質の状態変化とその平衡について科学的に探究する方法を身に付け，それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現することができる。 d:物質の状態変化とその平衡に関する観察，実験，探究活動などを通して，それらについての基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	学習状況 ノート 実験レポート 観察・実験 小テスト 定期考査
		気体の性質		○		○		
		溶液の性質			○	○		
		固体の構造		○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。